

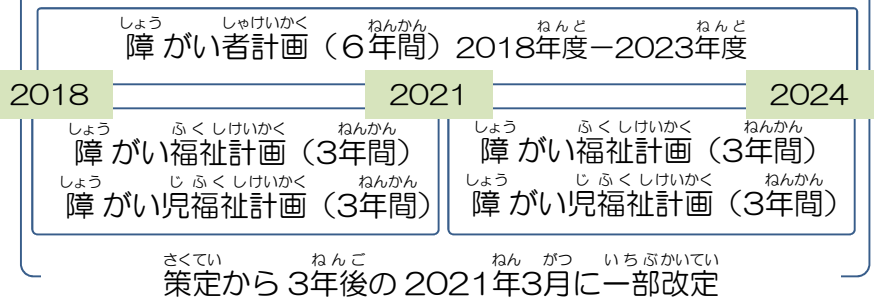
さっぽろしょうがいふくしか
札幌市障がい福祉課

2018年3月に策定した「さっぽろ 障がい者プラン」の一部改定（見直し）に向けて、今年度、
実態調査を実施します。（アンケート実施時期：10月～11月を予定）

1 一部改定（見直し）の考え方

- 策定3年後（2021年3月）に一部を改定します。
- 2019年度は「実態調査」等により、課題整理をします。
- 2020年度に具体的な改定内容を検討します。

さっぽろしょうがい者プラン 2018（2018年3月策定）



＜改定プランでは＞

札幌市が目指すべき「共生社会」の具体的なイメージを構築するとともに、障がい者施策をとりまく全国的な動向、今後定められる国の指針、札幌市が独自に抱える課題に応じて、新たな方向性を盛り込みます。

2 実態調査の概要（案）

① アンケートの対象を増やします。

前回と同じ「障がい当事者（障がい者・障がい児）」「施設入所中の方」「精神科に長期入院中の方」「一般の市民の方」のほか、次の対象者を新たに加えます。

＜サービス事業所＞ 支援者からみた福祉施策の課題、職員確保などの運営面の課題を把握します。

＜企業＞ 企業における障がい者雇用・社会貢献への意識を把握します。

＜精神科入院患者＞ 可能な範囲において、入院しているご本人の、退院への意向等を把握します。

② 新しい課題に応じた設問を増やします。

前回との比較の必要性から、設問は基本的には前回ベースとしつつ、全国的な課題及び札幌市が独自に抱える課題に応じた内容を重点的に取り入れます。

＜新たな設問（主なもの）＞

☆ 昨年9月の胆振東部地震を踏まえた、要配慮者の防災対策・災害時支援に関すること

☆ 重度の障がいのある方や医療的ケアが必要な方への支援に関すること

☆ 障がいのある方と文化芸術に関すること（平成30年6月：障害者文化芸術活動推進法施行）

☆ 障害者手帳のカード化に関すること

☆ ヘルプマークやコミュニケーション条例など、市の新たな取組に関すること

③ よりの確にニーズを把握するためのヒアリングを実施します。

障がい当事者団体へのヒアリングを行うことにより、アンケート調査だけでは把握しきれない実態や意向を把握します。(対象・時期については、今後検討します。)

※ アンケートだけでなく、ヒアリングや他都市の事例分析等、多様な視点からの確に課題を分析する必要がありますので、「調査分析に優れた専門業者(コンサルタント)」に委託して調査を進めます。
(調査委託先：株式会社 北海道二十一世紀総合研究所)

3 アンケートの対象と調査項目

今年7月に、障がい者施策推進審議会・自立支援協議会・精神保健福祉審議会の委員のみなさまに、調査票案をお送りし、いただいたご意見を参考にして修正しております。(設問数の制限から、反映できなかったものもあります)

調査票A 障がい者(難病含む)

～ 障がい当事者の実態や意向 ～

＜対象＞ 在宅(グループホームを含む)の障がい当事者(18歳以上)を無作為に抽出
身体障がい：2,000人 知的障がい：2,000人 精神障がい：2,000人 難病：450人
＜方法＞ 郵送で調査票を送付。返信用封筒で提出

〔主な設問〕(詳しくは別添の調査票案をご覧ください)

- ☆ 基本的な情報(年齢・性別・障がいの状況・住まい・家族など)
- ☆ 心身の状況(日常生活の動作、医療の状況など)
- ☆ 障がい福祉サービスのこと(利用状況、利用しやすくするために必要なことなど)
- ☆ 外出の状況(外出時に困っていることなど)
- ☆ 仕事のこと(仕事の有無、仕事を続けるうえで困っていることなど)
- ☆ 生活のこと(住まいのことで困ったこと、今後の住まいの希望)
- ☆ 防災のこと(昨年の地震のときのこと、災害への備え、不安に感じていることなど)
- ☆ 文化芸術のこと(鑑賞や活動の機会のこと、文化芸術活動に必要なこと)
- ☆ スポーツのこと(スポーツの体験、目的のこと)
- ☆ 札幌市の制度や政策のこと(差別の体験、手帳のカード化、政策への要望など)

調査票B 障がい児(難病含む)

～ 障がい児・保護者の実態や意向 ～

＜対象＞ 在宅の障がい児(18歳未満)を無作為に抽出
身体障がい：500人 知的障がい：500人 難病：50人
＜方法＞ 郵送で調査票を送付。返信用封筒で提出

〔主な設問〕(詳しくは別添の調査票案をご覧ください)

- ☆ 基本的な情報(年齢・性別・障がいの状況・住まい・家族など)
- ☆ 心身の状況(日常生活の動作、医療の状況など)
- ☆ 障がい福祉サービスのこと(利用状況、利用しやすくするために必要なことなど)
- ☆ 外出の状況(外出時に困っていることなど)
- ☆ 学校や日中の過ごし方(平日昼間の状況、今後の住まい、教育や療育への希望)
- ☆ 防災のこと(昨年の地震のときのこと、災害への備え、不安に感じていることなど)
- ☆ 文化芸術のこと(鑑賞や活動の機会のこと、文化芸術活動に必要なこと)
- ☆ 札幌市の制度や政策のこと(差別の体験、手帳のカード化、政策への要望など)

ちょうさひょう たいしんたい ちてきしやう しせつにゆうしよしゃ
調査票C 身体・知的障がい者の施設入所者

しせつにゆうしよしゃ ちいきいこうかだい
～施設入所者の地域移行課題～

<対象> 札幌市内の「施設入所支援」実施施設に入所中の、札幌市が支給決定している方
<方法> 施設宛メールで依頼。施設職員が記入してメールで回答

〔主な設問〕（詳しくは別添の調査票案をご覧ください）

- ☆ 基本的な情報（年齢・性別・障がいの状況・入所期間など）
- ☆ 入所者の意向（退所の希望、退所後の生活に関する希望）
- ※ 入所者ご自身の意向を確認するして施設職員が記入する。
- ☆ 施設側の見解（退所の可能性、退所後に必要な資源など）

ちょうさひょう せいしんか ちやうきにゆういんかんじゃ びやういんちやうさ
調査票D-1 精神科の長期入院患者（病院調査）

ちやうきにゆういんかんじゃ ちいきいこうかだい
～長期入院患者の地域移行課題～

<対象> 札幌市内の精神科病院に「1年以上」入院している方
<方法> 病院宛メールで依頼。病院職員が記入してメールで回答

〔主な設問〕（詳しくは別添の調査票案をご覧ください）

- ☆ 基本的な情報（年齢・性別・症状・入院形態など）
- ☆ 病院側の見解（退院の可能性、退院後に必要な資源など）

ちょうさひょう せいしんか ちやうきにゆういんかんじゃ ほんにんちやうさ
調査票D-2 精神科の長期入院患者（本人調査）

ちやうきにゆういんかんじゃ ちいきいこうかだい
～長期入院患者の地域移行課題～

<対象> 札幌市内の精神科病院に「1年以上」入院している方（意思を表明できる方）
<方法> 病院宛郵送で依頼。本人が記入してメールで回答（必要に応じて病院職員が支援）

〔主な設問〕（詳しくは別添の調査票案をご覧ください）

- ☆ 退院して病院以外の場所で生活をしたいか
- ☆ 退院したいができない理由、退院したくない理由

ちょうさひょう いっぱん しみん いしきちやうさ
調査票E 一般の市民への意識調査

しょう しゃしきくぜんばん いしきちやうさ
～障がい者施策全般への意識調査～

<対象> 札幌市内に住民登録がある18歳以上の方を無作為に抽出（3,000人）
<方法> 郵送で調査票を送付。返信用封筒で提出

〔主な設問〕（詳しくは別添の調査票案をご覧ください）

- ☆ 障がいのある方とのかかわり（手助けの経験、今後のかかわりの希望）
- ☆ ボランティア活動のこと（活動の経験、今後の活動の希望）
- ☆ 障害者差別解消法、札幌市の施策の認知度（ヘルプマーク、コミュニケーション条例など）

ちょうさひょう ていばうじきやうしよ
調査票F サービス提供事業所

しえんしゃがわ かだいはあく
～支援者側の課題把握～

<対象> 札幌市が指定している事業所を無作為に抽出（2,000事業所）
<方法> メールで依頼。メールで回答。

〔主な設問〕（詳しくは別添の調査票案をご覧ください）

- ☆ サービスの提供に関すること（利用人数、提供に係る課題、医療的ケアを要する方の受入など）
- ☆ 職員の勤続年数や離職者数、採用困難な理由、人材育成や人材確保の手法
- ☆ 防災のこと（昨年の地震のこと、事業所としての備えなど）

ちょうさひょう いっぱんきぎょう
調査票G 一般企業

しょう しょう じゅうたい いよく しゃかいこうけん いこうどう
～ 障がい者雇用の実態・意欲・社会貢献の意向等～

- ＜対象＞ 札幌市内で事業を運営する企業を無作為に抽出（1,000社）
＜方法＞ 郵送で調査票を送付。返信用封筒で提出

〔主な設問〕（詳しくは別添の調査票案をご覧ください）

- ☆ 障がい者雇用に関すること（雇用の実績、今後の意向、窓口の認知度など）
- ☆ 障がい者や支援団体への社会貢献活動に関すること（経験、今後の意向など）
- ☆ 共生社会についてのイメージ、考え方

4 さんこう さくてい よてい
参考：策定スケジュール（予定）

げんじてん よてい へんこう かのうせい
現時点での予定であり、変更の可能性あります。

